

文部科学省委託事業

令和5年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

成果報告書

令和6年3月

株式会社東京リーガルマインド

内 容

第 1 章 事業の概要

第1節 事業の趣旨・目的等について

第1項 事業の趣旨・目的

第2項 学習ターゲット・目指すべき人材像

第 2 章 事業の実施

第1節 実施体制

第1項 構成機関

第2項 事業の実施体制

第3項 各機関の役割・協力事項

第2節 実施内容

第1項 全体の流れ

第2項 会議体と運営

第3項 実施アンケートの結果

第4項 外部発注業務の成果物

第3節 本事業終了後の成果の活用方針・手法

参考資料

動画教材一覧

Shopify 画面(LEC ストア)

第1章 事業の概要

第1節 事業の趣旨・目的等について

第1項 事業の趣旨・目的

インターネット環境及びスマートフォンを含むモバイル端末の普及により、日本国内における B to C の電子商取引(EC)市場(物販系・サービス・デジタル分野合計)は 2013 年の 11.1 兆円に対し 2022 年で 204%の 22.7 兆円の市場規模となった。しかし、物販系分野(小売業)でみると、その市場規模 14.0 兆円のうち EC 市場で取引される割合(EC 化率)は 2022 年で 9.1%と極めて低い状況にある。これは業界企業においてそれぞれの EC サイトがうまく構築・運営されていない事、それに伴う人材が確保されていない事が原因と言える。

本事業においては、小売業界の企業に対し売上げを向上させる EC サイトを構築・運用できる人材を育成するための教育プログラムを開発し、業界の EC 市場を盛り上げることが主たる目的である。また、専門学校等が EC 人材を育成する教育プログラムにおいて、教育内容がコーディングなどの偏った要素技術の習得を目的とするプログラムが数多く見受けられる中、時代のトレンドであるノーコードプラットフォームを用いて効率的なプラグインを組み込むことで、EC 本来の「商取引による売上げを向上させること」という部分を強化し、業界の特性に合わせた「真の産学連携型」の新たな DX 人材を育成する教育プログラム開発に挑戦したい。加えて、この教育プログラム開発により実践的な EC における実務スキルを習得した専門学校新卒人材の育成も視野に入れたい。

第2項 学習ターゲット・目指すべき人材像

○ターゲットとなる学習者の分野・職種

物販系 EC 構築・運用

○学習者が身に着けることを目指す知識・技能

【目的】

小売業界(物販系)EC の基本概念を理解し、オンラインストアの構築・運用ができるようになる。

【講座受講者の到達目標】

1. 物販系 EC の基本的な概念や仕組み、運用の流れを理解する。
2. Shopify を使用して物販系 EC サイトのフロントエンドデザインができる。
3. Shopify を用いた EC サイトにおける店舗バックヤード業務の取捨選択をする。
4. Shopify を使用し、EC サイトにおける独自開発として 10 機能程度を実務可能な状態にすることを事業の成果として目指すが、令和 5 年度は以下の 5 機能の開発を手掛ける。
 - ・越境 EC を実現させる
 - ・SNS と連携して販促が出来るようになる
 - ・決済システムを導入させる
 - ・物流と連携させる
 - ・AI を EC サイトに組み込む 等。

○目指す人材像

本事業では、コーディングや IT スキルに依存しない EC プラットフォーム「Shopify」を活用して多様な業界にて、特に小売りに関する EC オペレーションを必要とする人材育成を目標とする。売り手が求める際の EC サイトのコンセプト、ターゲットと言ったマーケティング

グの観点から「売れる」かつ「持続性のある」EC サイトの構築と運用の出来る社内 DX 人材を既存の社員から育成するとともに、各専修学校の専門性を活かした進路先での EC サイトDX 人材として入社後活躍できる新卒人材を育成する。また、「買う側」に優しいEC 業界において、「売る側」に優しい機能を開発・付加することで小売業界での EC 化率を向上させる。

第2章 事業の実施

第1節 実施体制

第1項 構成機関

(1)教育機関

	名称	役割等	都道府県名
1	学校法人中央情報学園 中央情報専門学校	実証講座実施◎	埼玉県
2	学校法人石川学園 横浜デザイン学院	実証講座実施	神奈川県

(2)企業・団体

	名称	役割等	都道府県名
1	橋本商工会議所	教育プログラム開発への助言・提案	和歌山県
2	3PLATZ 株式会社	EC 及びプラグイン機能(決済)等に関する助言	東京都
3	ロジスティード株式会社	EC 及びプラグイン機能(物流)等に関する助言	東京都
4	公社)バリュー・エンジニアリング協会	VE の観点から事業及び講座開発に助言	東京都
5	株式会社東京リーガルマインド	事業のコーディネートと推進及び講座開発	東京都

(3)行政機関

	名称	役割等	都道府県名
1	埼玉労働局職業安定部訓練課	安全衛生や関連法規に関わる助言・指導	埼玉県

第2項 事業の実施体制

事業は業界団体の意見をもとに、専門学校及び企業によりEC サイトプラットフォーム「Shopify」を用いた実践的な教育コンテンツを開発し、実証実験を各年度で行う。

業界ニーズに合わせた新機能開発を含めて対面式の 32 コマ程度の講座を開発する。

また、行政より安全衛生や関連法規含めた指導・助言を開発に取り入れる。

業界団体:

業界からのニーズを取込む

- ・ユーザー側の Needs/Wants を聴取するとともに評価検証を得る

専門学校:

EC 人材の育成

- ・プログラム開発、実証講座実施

企業:

産学連携教育プログラム開発

- ・EC サイト新機能の開発
- ・講座カリキュラムの編成
- ・講座の横展開の起点

行政:

公的機関の公平な助言等を求める

- ・プログラム及び運営に対する助言及び指導

民間団体:

外部団体による提案・評価を得る

- ・プログラムに対する助言

第3項 各機関の役割・協力事項

○教育機関

専門学校

- 学校法人中央情報学園中央情報専門学校
- 学校法人石川学園横浜デザイン学院
 - ・産業界ニーズを反映したカリキュラム開発
 - ・実証講座の実施
 - ・EC人材の育成・輩出

○企業・団体

- 橋本商工会議所
 - 教育プログラム開発への助言・提案
 - EC 及びプラグイン機能等に関する助言
- ロジスティード株式会社
 - EC 及びプラグイン機能等に関する助言
- 3PLATZ 株式会社
 - EC 及びプラグイン機能等に関する助言
- 公益社団法人バリュー・エンジニアリング協会
 - VE の観点から事業及び講座開発に助言

○行政機関

- 埼玉労働局職業安定部訓練課
 - プログラム運用に関わる助言・指導

第2節 実施内容

第1項 全体の流れ

- (1)実施委員会
 - ・事業の方向性の確定
- (2)調査
 - ・業界、専門学校に対するアンケート
 - ・業界企業からヒアリング
- (3)事業ランディングページ(LP)等開発
 - ・LP 開発
 - ・SNS 公式サイト開始
- (4)教育プログラム開発
 - ・シラバス開発
 - ・プロトタイプ講座開発
 - ・プラグイン開発
- (5)実施委員会
 - ・プロトタイプ講座の確認
 - ・実証講座実施体制
- (6)実証講座実施・評価
 - ・専門学校での実証講座(学生向け)
 - ・弊社校舎での実証講座(社会人向け)
- (7)プロトタイプ講座の評価
 - ・プロトタイプ講座評価部会

- (8)実施委員会
 ・R5 年度事業報告等
 (9)成果報告

第2項 会議体と運営

○事業を推進する上で設置した会議

1. 実施委員会

会議名	実施委員会		
目的・役割	事業活動方針の策定、開発/実証部会への作業指示 外部委託事項に係る評価、活動成果の評価		
検討の 具体的内容	事業全体のスケジュールや開発及び実証の仕様の承認 調査結果や開発成果の評価 成果物の承認などに関する討議		
委員数	10人	開催頻度	3回

実施委員会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1	川崎 正人	株式会社東京リーガルマインド 公共事業本部マネージャー	事業統括	東京都
2	小菅 厚	学校法人中央情報学園中央情 報専門学校	助言、実証 講座実施	埼玉県
3	志村 信生	学校法人石川学園横浜デザイ ン学院戦略企画部統括部長	助言、実証 講座実施	神奈川県
4	松谷 佳幸	橋本商工会議所専務理事	助言・指導	和歌山県
5	井上 淳	開志専門職大学客員教授	助言・指導	東京都
6	鈴木 雅晴	株式会社アンピール社長	助言・指導	東京都
7	杉本 俊彦	株式会社 3PLATZ 特別顧問	助言・指導	東京都
8	芳賀 寛	ロジスティード株式会社ロジス ティックソリューション開発本 部長	助言・指導	東京都
9	嶽 正幸	株式会社アクティブ社長	助言・指導	東京都
10	早藤 弘信	埼玉労働局職業安定部訓練課	助言・指導	埼玉県

実施委員会の開催実績

会議名	第1回実施委員会
日時	2023年11月2日(金)14:00～Zoom

議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本事業の概要についての確認と実施委員選任 (株)東京リーガルマインドより事業内容について説明及び実施委員の紹介があり、出席者全員の了解と賛同を得た。 2. 本事業推進の体制についての確認 (株)東京リーガルマインドより本事業に係る「実施事項と実行者・実施時期」及び部会については適時開催し取り進める旨の説明があり、出席者全員が同意した。
----	--

会議名	第 2 回実施委員会
日時	2023 年 12 月 13 日(水)14:00～Zoom
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の議事録の確認と出席者紹介 2. 進捗状況の報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 1 月中旬に専門学校で実証講座を行い、その後東京リーガルマインド(LEC)で社会人向け講座も実施する予定。 ② 昨日、「開発/実証部会」が開催され、プログインプログラムの仕様について協議し、1 月末納品でコンセンサスを得た。 ③ 物流については 18 日ロジスティード(株)と打合せをする。 ④ 小売業界の全日本酒類販売店協会と 21 日に打合せをする。 ⑤ 本件は 2 年案件と短く、今年は形を作り大枠としてやってみて、来年修正という流れで進めていくことを想定している。

会議名	第 3 回実施委員会
日時	2024 年 2 月 7 日(水)14:00～ Zoom
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の議事録の確認と出席者紹介 2. 進捗状況の報告と了承 <ol style="list-style-type: none"> (1) 橋本商工会議所のご協力を得、会員の物販店 27 店舗にアンケートを 12 月に実施の上、1 月 23～24 日に現地出張し、7 店舗に EC サイトの運用状況をヒアリングしたことを報告。 <ol style="list-style-type: none"> ① 自社 EC サイトの展開では、認知を高め集客に繋げる点で苦勞しており、地域で集約し「Mall」を構成して展開する構想への賛同があった ② 自社サイトの運営では買い物カゴ以外に活用している機能は少ない ③ モール型サイトソフトでは 8 店中 5 店で費用負担に不満・やや不満との回答があった <p>こと等。</p> <ol style="list-style-type: none"> (2) 外部委託した開発案件 6 件が納品されたことが報告され、了承された。

2. 開発/実証部会

会議名	開発/実証部会		
目的・役割	教育プログラムの設計・に係る実作業と評価 外部委託業務に係る仕様の検討		
検討の 具体的内容	委託先(発注先)との打合せを通じ、作業の進捗状況を確認		
委員数	3人	開催頻度	1回

開発/実証部会(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1	川崎 正人	株式会社東京リーガルマインド公共 事業本部マネージャー	事業統括	東京都
2	小菅 厚	学校法人中央情報学園中央情報専 門学校	開発助言	埼玉県
3	田 炎平	株式会社 UniBis 執行役員	開発助言	東京都

会議名	第1回開発/実証部会
日時	2023年12月12日(火)13:00~Zoom
議題	<p>Shopify のプログインプログラムの仕様を決める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 決済機能 現在新規受付がされていないことが判明したので、今年は開発 までとし、来年実装することとする。 2. 物流機能 ロジスティード(株)の春日部 EC プラットフォームセンターとの連動 を図れぬか、18日に同社を訪問の上、協議する。 3. SNS との連携機能 インスタ・Facebook の何れかに投稿すれば、それぞれに投稿せ ずとも一気に発信できるようにする。 4. 越境 EC 機能 今の Shopify には海外送金機能がないので、そこをできるように し付加価値とし、以て越境 EC も可能とする。 5. AI 機能 「Q&A」で 10 文字程度の質問から回答ができるようにする。

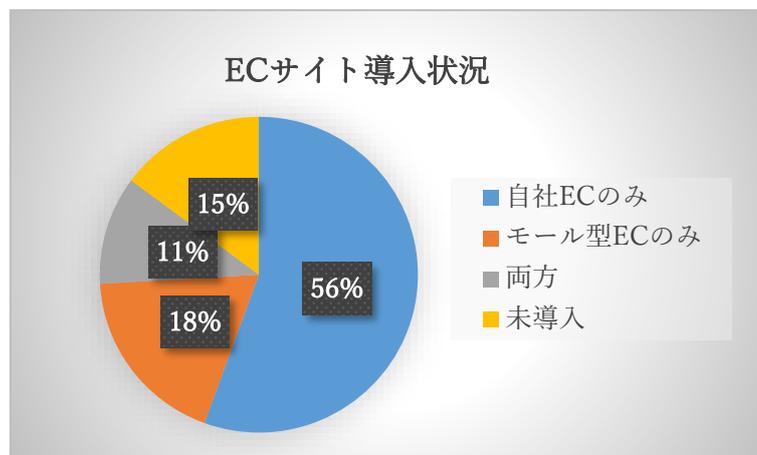
第3項 実施アンケートの結果

○橋本商工会所会員小売店を対象としたアンケート・ヒアリング結果

1. アンケート回答者一覧

アンケート実施事業所リスト			EC導入	未導入	導入済			
番号	事業形態	事業内容	取扱品		自社	モール型	両方	
1	法人	小売業	醤油・梅干・ポン酢	製造販売	既	1		
2	法人	小売業	呉服	小売業	未	1		
3	個人	サービス業	カメラ販売	・DPE・スタジオ撮影	既	1		
4	個人	小売業	米穀	販売	未	1		
5	個人	小売業	化粧品	販売	既	1		
6	法人	卸売業	魚市場		既		1	
7	法人	小売業	自動車修理	・販売	既	1		
8	法人	製造・販売	繊維製品	製造販売(ぬいぐるみ)	既	1		
9	法人	製造業、販売	カーボン竿	製造(へら鮎釣り用)	既	1		
10	法人	サービス業	温泉ランド、水	・化粧品等販売	既	1		
11	個人	製造・販売	製竿業	(へら鮎釣り用)	既	1		
12	個人	小売業	天然樹木油	関連商品販売(ヒノキ油)	既	1		
13	個人	小売業	洋菓子製造販売	(デコレーションケーキ)	未	1		
14	法人	小売業	小売	(化粧品・OAサプライ)	既		1	
15	法人	卸売業	食料品、観光	土産品卸	既	1		
16	法人	製造業	人工観葉樹及び	アートフラワーの製造・輸入・販売	既		1	
17	個人	小売業	バイク	小売	既		1	
18	個人	製造業	魚介類	加工販売	既	1		
19	法人	製造業	プラスチック	製品製造業	既	1		
20	法人	サービス業	旅行業他	観光関連、地場産品販売	既	1		
21	個人	小売業	洋菓子製造販売	(バウムクーヘン)	既	1		
22	法人	小売業	不動産の売買・仲介	物販 HP作成	既		1	
23	法人	小売業	自動車	販売	既		1	
24	個人	その他	農業		既		1	
25	個人	小売業	スポーツ用品	製造および販売業(野球クラブ)	既	1		
26	法人	製造業	パン製造	販売 カフェ運営(グルテンフリー)	既		1	
27	法人	サービス業	自動車	钣金塗装	未	1		
※網掛け先：1月23・24日に訪問ヒアリング実施					4	15	5	3
						23		

2. EC 導入状況



12月橋本商工会議所会員の内、物販をしている会員27店舗からアンケートについて回答を得た。ECサイトを展開していないのは4店舗のみ、展開している店舗は23であった。展開している23店の内、自社サイトとモール型の両方で展開が3店舗、自社サイトのみが15(モールでも展開している店舗を加えると18店舗)、モール型のみが5(自社サイトでも展開している店舗を加えると8店舗)であった。

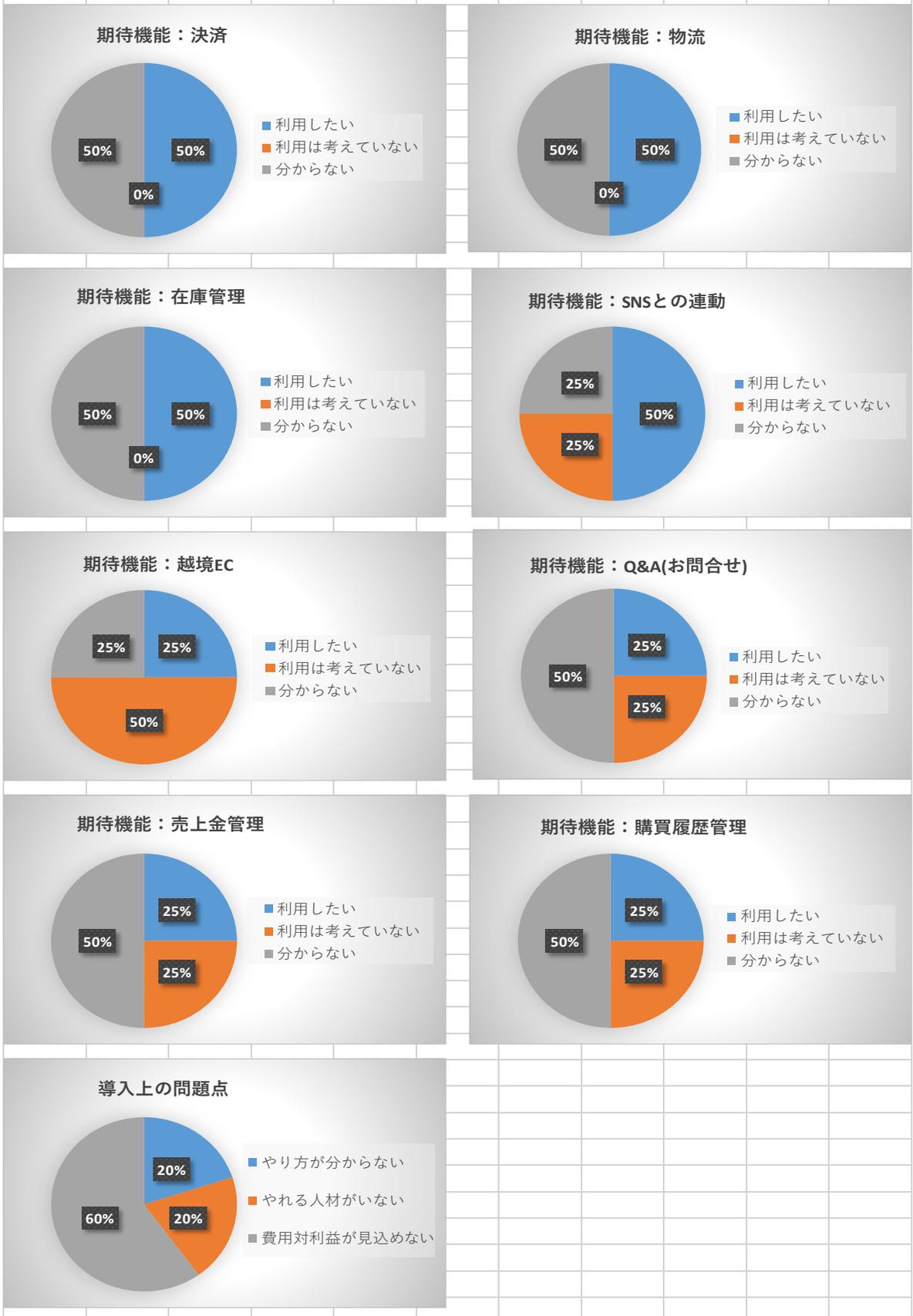
その上で1月23~24日に回答頂いた27店舗の内6店舗+アンケート外の1店舗の計7店舗を訪問し実態についてヒアリングした。

- ①未導入先4店舗で導入上の問題点として「費用対利益が見込めない」を指摘したのは2店舗あった。
- ②モールに出店している8店舗においても、費用に不満・やや不満と回答したのは計5店舗あり、今回訪問した先7店舗においても以前モール型に出店していたが採算が合わず撤退した先があった。
- ③他方、今回ヒアリングした7店舗は何れも自社サイトで展開していたが、自社のみでは認知度があがらず集客不足から売上はまだまだとの説明が多かった。売上があがっている2店舗は何れもSNS(インスタ)で情報発信し集客に活かしているとのことだったが、自社サイトを展開している18店舗へのSNSを使っているかのアンケート回答を見ると、SNSを活用していない5店舗と連動に不満・やや不満の2店舗を合わせると7店舗あり、売上増にはSNSを上手く活用できるかが課題と指摘される。
- ④また、ヒアリングした7店舗の内3店舗で海外から引合いがあるとのことだったが、何れも応えられていないとのこと。自社サイトで展開している18店舗へのアンケートでは越境ECを使っていないが14店舗あり、この点も今後の課題と思われる。

アンケート結果については以下の円グラフの通り。

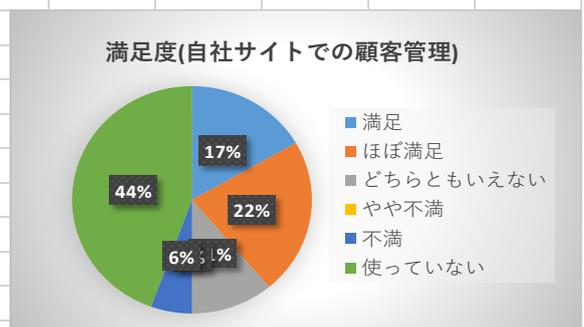
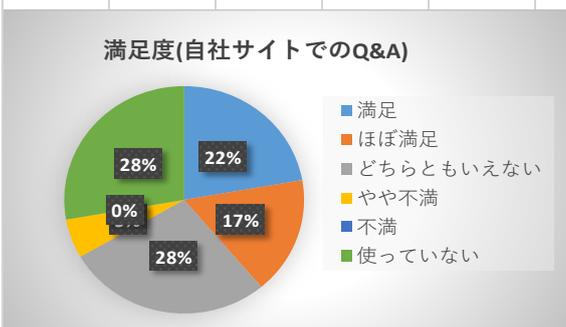
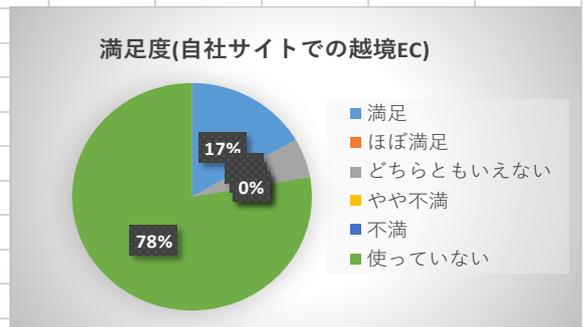
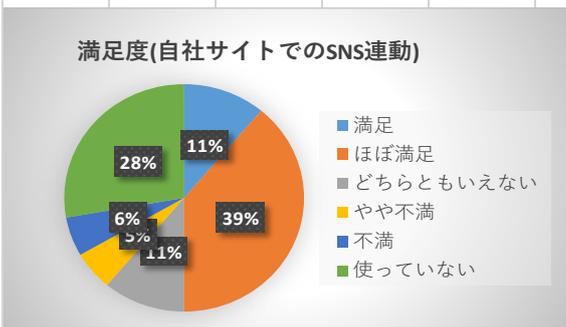
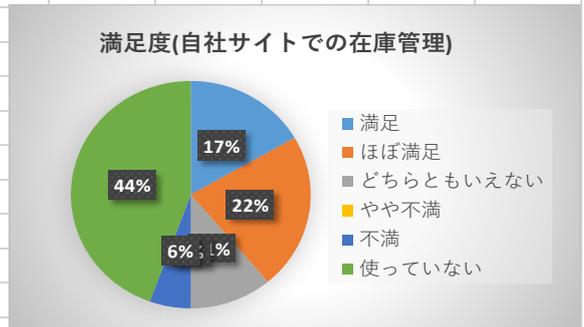
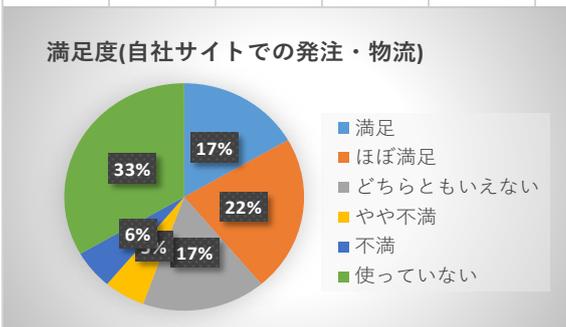
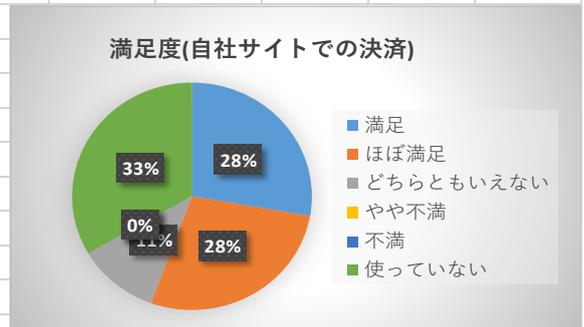
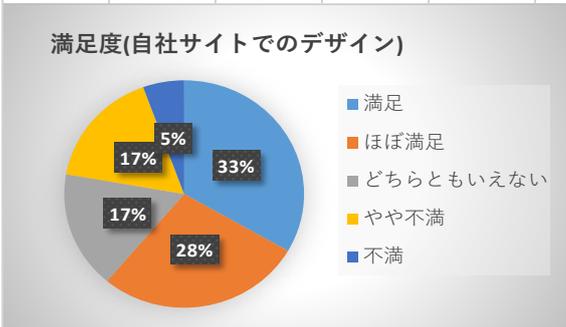
3. EC 未導入店舗(4 店舗)

EC未導入店舗(4店舗)



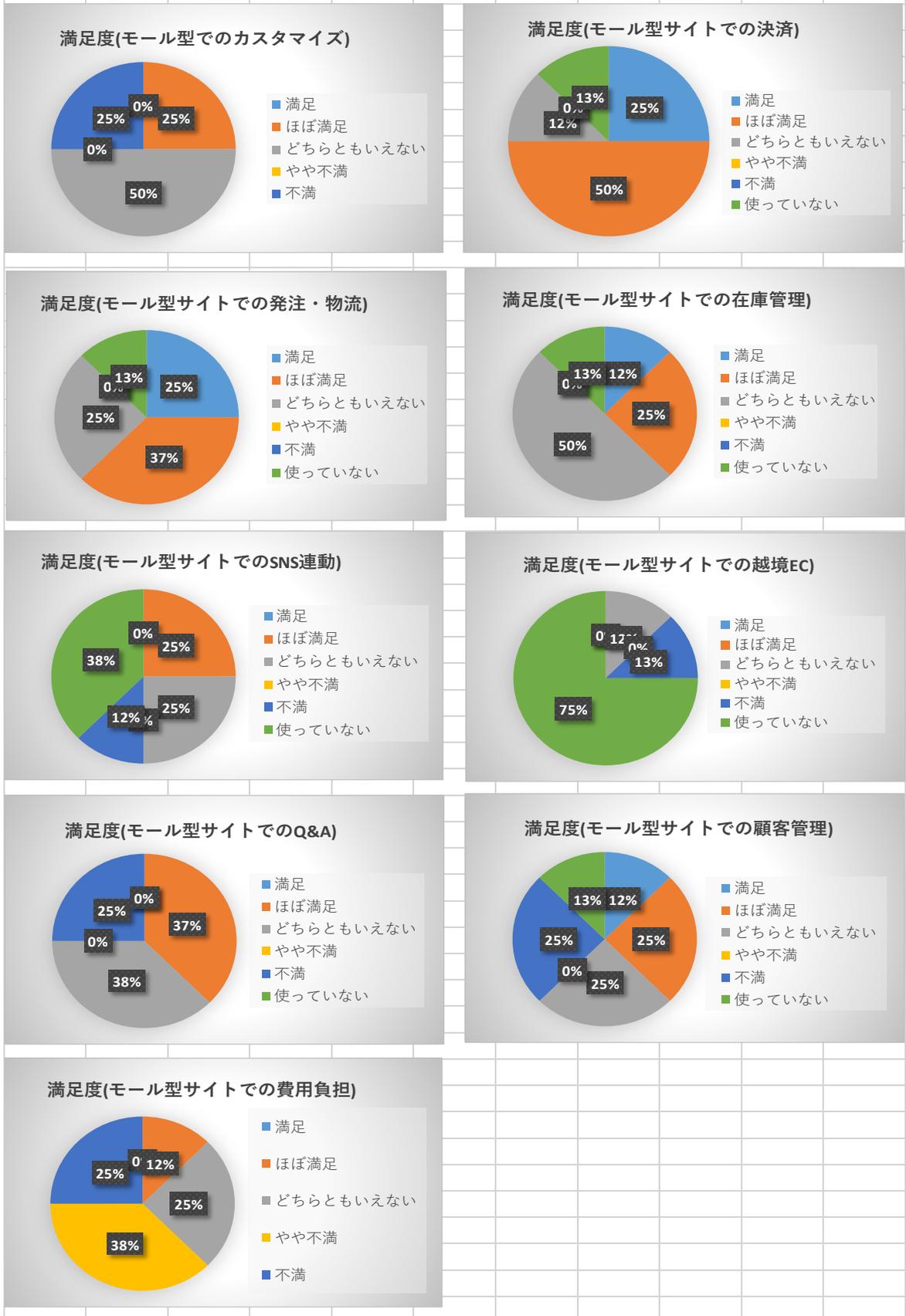
4. EC(自社モール)展開店舗(18店舗)

EC(自社モール)展開店舗(18店舗)

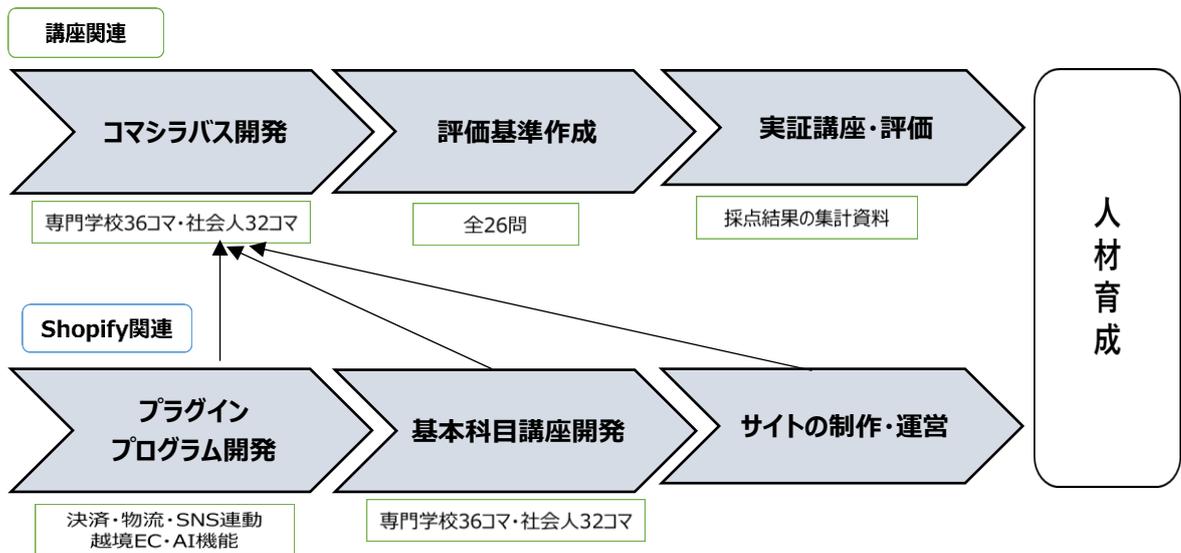


5. EC(モール型)展開店舗(8 店舗)

EC(モール型)展開店舗(8店舗)



第4項 外部発注業務と成果物



1. プラグインプログラム開発
 <成果物>
 ① 決済、② 物流、③ SNS 連携、④ 越境 EC、⑤ AI 機能のプラグインプログラム
2. Shopify 基本科目講座開発
 <成果物>
 ① 基本科目講座
 講義動画@45分×36コマ
 ② 社会人のための基本科目講座
 概論科目テキスト1冊
 科目動画@45分×32コマ
3. Web制作・運用
 <成果物>
 ① プラットフォームの構築
 ② Web制作
4. コマシラバス開発2種(Microsoft Office形式)
 <成果物>
 ・専門学校の授業として実施可能なコマシラバス36コマ
 ・社会人向けリカレント教育として実施可能なコマシラバス32コマ
 <到達目標>
 ① ECの基本的な概念や仕組みを理解する。
 ② Shopifyのテーマに対してHTML/CSSによるカスタマイズができる。
 ③ Shopifyのテーマに対してJavaScript/Liquidによるカスタマイズができる。
 ④ 目的に応じたECサイトをデザインできる。
5. 講座内確認テスト及び採点基準
 <成果物>

- ・確認問題 5 問 × 5 課程 (全 26 問)
- ・採点基準 1 部
- 6. 実証講座の実施補助
 - ＜成果物＞
 - ・採点結果の集計資料 (Microsoft Office 形式)

第3節 本事業終了後の成果の活用方針・手法

令和 6 年度成果物

- ・社会人向けリカレント教育講座 (オンライン + 対面を予定)
- ・専門学校向け職業教育単位科目講座 (オンライン + 対面を予定)
- ・令和 5 年開発のシラバスの改訂
- ・令和 5 年開発の講座内容確認テスト (全 26 問) 及び評価基準
- ・令和 5 年開発の実証講座の内容確認テスト (全 26 問) に係る評点集計資料
- ・追加プラグインの開発
- ・小売店へプラグインプログラムした Shopify を導入し使い勝手を実証

令和 7 年度

- ・実施委員会にてソーシアム化を試み、企業等における物販系 EC 担当者実務資格認定制度を検討。
- ・EC サイト講座認定講師制度/ティーチングアシスタント育成制度を準備。
- ・講座の完全 e ラーニング化を推進。
- ・講座コンテンツをもとにした書籍化をすることでマーケットを拡大。
- ・弊社法人事業部を起点として「人材開発支援助成金」を活用した「事業展開等リスクリング支援コース」として開発した講座の横展開を図る。
- ・情報系専門学校のみならず、ビジネス系、デザイン系、服飾系、調理系等専門学校においても EC 関連職業教育科目として導入を提案。
- ・専門学校生の就職先として企業とのマッチングを図る事業を企画。

令和 8 年度

- ・コンソーシアムを一般社団法人化し、物販系 EC 担当者実務資格認定制度を確立するとともに認定講師制度を走らせる。
- ・専門学校生と小売業界企業における人材マッチング企画を試験的に実施。
- ・完全 e ラーニング講座をリリース。
- ・講座における Shopify プラグイン機能のアップデート及び拡充。
- ・弊社全国の直営拠点を活用し学校法人及び民間企業に対し広く講座の普及活動を行う。

【 備考: 令和 6 年の検討命題 】

中小小売店 (個人商店) による EC サイト展開については、今回の橋本商工会議所会員へのアンケート及びヒアリングで抽出できたニーズ/ウォンツを踏まえると、

1. 各機能を中小規模店舗 (個人商店) でも使い易いものとした上で、店主の想いや商品・品揃えの拘り・特性を SNS で情報発信し、認知度アップ ~ 集客増につなげ、大手チェーンと差別化する方向で認識が一致していると思われた。
特に「匠の技」に基づきオリジナリティのある商品を製造販売されている会社において、

EC 展開は期待されるところで、売上増が見込まれれば人材採用もできるのだがとの声が聞かれた。

また、斯かる会社においては海外展開からの引合いもあるものの、現状は対応できぬことから注文を断っているとのことで、今後の展開を鑑みると仕組み作りが必要と指摘される。

2. 更に個人商店の存続を支援する上で、高齢化の進む地域社会で商店が引き続き利用され、地元消費者の生活を支える機能を維持するには、個々の商店による個別の EC サイト展開に留まらず、各店が協働し商店街として一体となり、地域ブランドを冠する「Mall」のような組織として EC サイトを共同展開することで

①集客力をアップ

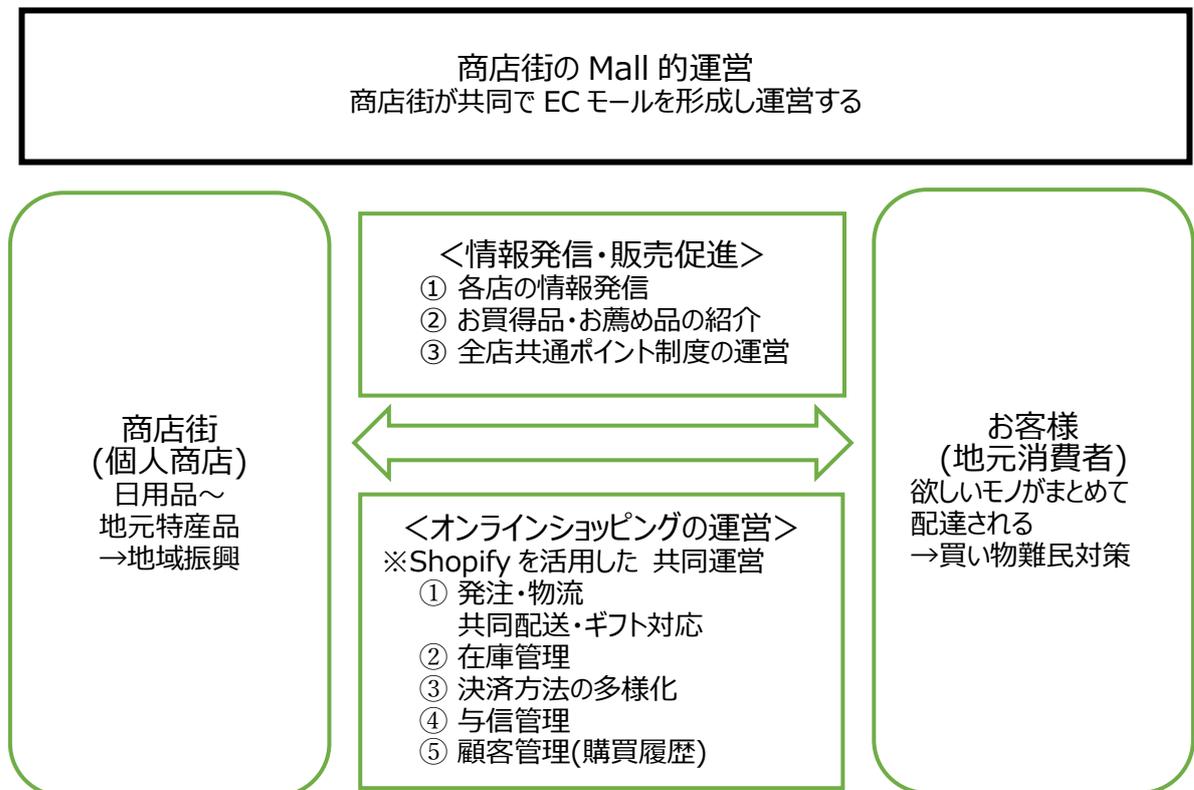
②受注・配送機能の共同化

を目指すことも検討に値すると考えられた。

ちなみに、橋本市では既に商店街がなくなっていたが、商工会議所としても地元商店の活性化の視点から商店がまとまったの EC 展開に関心ありとのコメントもあった。

3. 上記を想定して令和 5 年に開発した Shopify の商店への導入・実証をするとともに、同じく開発した①コモシラバスの実施、②講座内容確認テスト及び採点基準の有効性の検証、③採点結果の集計資料の有効性の検証を協力教育機関で行い、EC サイトの開発・運営支援する人材育成の基盤作りを一層進めるべきと考える。

<イメージ図>



<参考資料:動画教材一覧>

令和5年度文部科学省専修学校による 地域産業中核的人材養成事業

本サイトは、社会人向けのDX(デジタルトランスフォーメーション)リカレント教育を加速化するための実験・実証を重ね、発展させるプラットフォームです。『Shopify®』を活用した具体的な教育を行っていきます。

教材一覧

EC 概論 1

[動画](#)

EC 概論 2

[動画](#)

shopify とは

[動画](#)

shopify アプリの活用

[動画](#)

Shopify の SEO 対策について 1

[動画](#)

Shopify の SEO 対策について 2

[動画](#)

SNS 連携について

[動画](#)

越境 EC

[動画](#)

成功を導く電子商取引(EC)戦略の要素 1

[動画](#)

成功を導く電子商取引(EC)戦略の要素 2

[動画](#)

実証サイト

実証サイトでは、Shopify での EC サイト運営を円滑に進めるための総合サポートを提供しています。初心者から上級者まで、どんなショップオーナーもここで役立つ情報やツールを見つけることができます。

<参考資料:動画教材一覧>

WELCOME TO OUR STORE

LEC開発用ECストア Home Catalog Contact English

BROWSE OUR LATEST PRODUCTS

SHOP



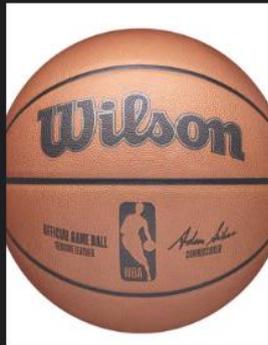
iphone 12
¥10 JPY



molten(モルテン) GAE(インドア&アウトドア用) 8号球 (bga6)
¥10 JPY



molten(モルテン) バasketボール アウトドアBasketボール B7 D3500
¥10 JPY



NBA 公式ゲームボール 7号 本革製
¥10 JPY

SUBSCRIBE TO OUR EMAILS

Be the first to know about new collections and exclusive offers.

Email

令和 5 年度
「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

成果報告書

本報告書は文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、株式会社東京リーガルマインドが実施した令和 5 年度「専修学校による地域中核的人材養成事業」の成果物をとりとまとめたものです。